

防除情報

長崎県病虫害防除所長

令和3年度病虫害発生予察防除情報第13号

茶 チャノコカクモンハマキの防除対策について

チャノコカクモンハマキの発生が増加しています。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 8月前期の巡回調査(19筆)の結果、1㎡あたり巻葉数は1.9枚(平年 0.1枚)、発生圃場率は36.8%(平年 8.9%)であった。
- (2) フェロモントラップによる誘殺量(農林技術開発センター茶業研究室調査)は、平年より多く推移している(図)。

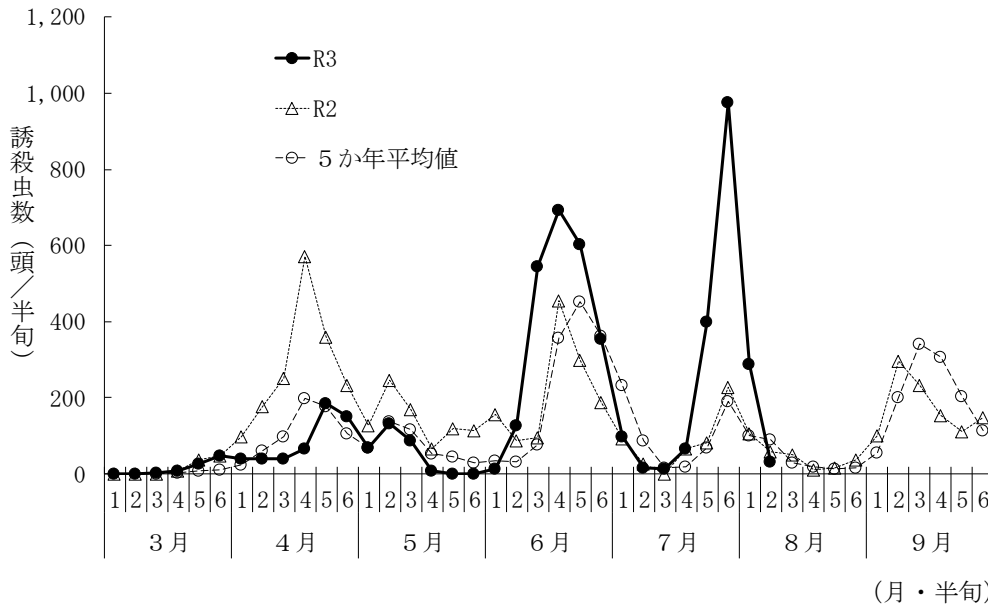


図 チャノコカクモンハマキの誘殺状況(東彼杵:フェロモントラップ)

2. 防除対策

- (1) 防除適期の目安は、脱皮阻害剤(IGR剤)は発蛾最盛期のころ、その他の薬剤は発蛾最盛期の約7日後である。
- (2) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和3年長崎県病虫害防除基準P430~431の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤は連用しない。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

